



学校だより

〈すべての命が輝く鎌田小学校〉

第六号

校長 杉村 幸恵



鎌田小学校キャラクター
くずのつき m.m

マスクの着用と熱中症予防

吹く風が心地よい頃です。とはいっても日中の日差しは初夏を感じさせる時や蒸し暑さを感じる時もあり、季節が進んでいることを実感します。外での活動中のマスク着用についても気を付けなければならない時がきています。

マスクの着用は、感染を予防する上では大変効果があるとの見解が国からも出ているところではありますが、それと同時に、マスクの着用についての新しいガイドラインも示されています。基本的には、『**人との距離**』と『**会話**』です。私たち大人も含めて、人との距離を保つことができる場面ではマスクを外す、距離が近い、または、会話を行うときにはマスクを付けることを、日常的な対応としていくことが求められています。具

本校でも『**場面に応じた適切なマスクの着脱**』を進めてまいります。具体的には、基本的には身体的距離が2m以上確保でき、なおかつ、あまり会話を行わない体育や外での活動は、マスク着用の必要がない場面とし、マスクを外すことを推奨していきます。外での鬼ごっこなど、密にならない遊びもマスクの必要がない場面と捉えています。しかし、外すことに消極的な児童に対し、マスクを外すことを強要することは難しい現実があります。この機会に、マスクの着脱について御家庭で話し合ってください、子どもたちが安全に生活できますよう、御協力をお願いします。



交通安全教室を終えて

交通安全教室を終えた子どもたちが、振り返りの活動を行いました。「大切だと思ったこと」と「気を付けていきたいと思ったこと」の二点を中心に振り返っています。全ての児童のワークシートに目を通しました。

どの学年の子どもも、『交差点では左・右・左を確認する』『周りをよく見て、自分で自分の身を守る』『道を横切るときは、手を挙げて運転手さんに気付いてもらうようにする』『止まってもらったときは、運転手さんにお辞儀をしてお礼をする』など、今回の交通安全教室で学んだことを生かしていきたいと考えているようです。

ところがこの振り返りには、ちゃんと学年の指導の違いが反映されていて、驚いたのと同時に嬉しく思いました。

低学年では、『見守り隊の人の言うことを聞く』という振り返りが少し見られます。中学年では、その割合は増え、さらに、『白線を意識して歩く』『列になって歩く』『間をあげないように歩く』『見守り隊の人に心配をかける』という振り返りも出ています。中には、『**下級生に教える**』『**自分が班長になった時には、旗を正しく使いたい**』という意見も出ています。これがさらに高学年では、『**下級生を安全に登下校させる**』『**下級生をしつかり見てあげたい**』『**後ろの下級生を意識する**』『**安全に登下校できるように旗の持ち方を気を付けていきたい**』『**一列にきちんと並びます!**』『**最高学年として、安全に登下校させたい**』『**低学年・中学年を守りたい**』と、自分の立場を理解し、行動に反映させようとする意欲を感じる意見が多くなっています。

子どもたちの振り返りが、絵にかいた○○とならないように、学校でも繰り返し見守り指導してまいります。すべての子どもたちが、このように意識しながら登下校する班登校となりますよう、御家庭でもお声掛けをお願いします。

